



姉(左)と同じカルメル会に26歳で入会する

神からの呼び掛け
新しい人に(3)



であつた。笑顔で実に聰明な清々しい女性だつた。ふと、どんな人と結婚するのだろうと思つた。

その彼女がスペイン

人宣教師が指導する八日間の默想会で神からの呼び掛けを感じ、修道女の道を選んだ。

「古い人間とその行きを脱ぎ捨て、新しい人を身に着けて生きる」

これは新約聖書の中の二節ではあるが、新しい人とは、神への奉仕に生涯を捧げる修道者には、彼女が大学卒業と誰にもいろいろ新しい人生への道があり、前向

に応えて修道生活を過ごす友人について書く。

最初に出会ったのが、一般向けに八日間が、一般向けに八日間三度体験したが、神の呼び掛けなどを体験し、ゼンチントラム大使館で働いていたところである。全国

との大切さを意味して、

自分を刷新することの大切さを意味して、

ことに深い感動を覚え、それにしても常に神に対する(たいじ)して祈りの中で生きること、

それから十八年後、外國人宣教師と同じは、簡単ではあるまい。

ように外國で祈りたい彼女の生き方を通して

と希望し、スペインのセビリアのカルメル会に

聖なるものへのあこがれ、畏敬の念は誰の

異動する。どこまで純粋に生きるのだろうと

中にもあると思う。正月に神社にお参りする

庄内(山形)の神社に参拝する

十一年前の二〇〇六年のものその一つの表れだ

年、妻と二人でセビリ

アの修道院を訪ねた。

に神の呼び掛けを感じ、全身全靈をかけて

生涯をそれに捧げる人

のまま、輝いて喜びの

生涯をそれに捧げる人

のまま、輝いて喜びの

生涯をそれに捧げる人

のまま、輝いて喜びの

生涯をそれに捧げる人

のまま、輝いて喜びの



セビリアの修道院に彼女を訪ねる

聖なる靈的なものを軽視する傾向がある。そ

私は修道生活だけが

社会から離れ、一日

の大半を沈黙の中

で過ごし、祈りと労

働の生活を神に捧げ

る生き方を選んで

いるのだ。

現代社会は今、その

行われ、私も参加さ

せてもらつた。一般

私は修道生活だけが

聖なる、新しい人を身

に着けた生き方とは思

い意味でも彼女の新し

い人を身に着けた生き

わない。自分たちのよ

うな平凡な結婚生活

がする。沈黙の中でも

その生き方によって

生活していると想像す